



みなみ風

学校教育目標 人間力を高め、未来にはばたく児童生徒の育成

合言葉 私たちの最上位目標は、子どもの幸せ

学園だより 令和4年10月25日 第21号 みなみ学園義務教育学校

10/21 (金) みなみフェス「絆『ぐ』」～仲間と共に笑顔をつなぐ 思いを一つに～

施設一体型義務教育学校になって、はじめて1年生から9年生までが会場にそろう、みなみフェスティバルを行うことができたことを、とてもうれしく思います。また、ブロックごとですが、保護者の皆さまにもご覧いただけて、子どもたちもとても喜びました。今回のみなみフェスティバルは、これまで以上に児童生徒主体、児童生徒が主役ということが強く打ち出されていて、子どもたちは計画・立案・制作・発表など、とてもよく頑張りました。素晴らしい秋晴れのもと、みなみのみんなの心が一つになった、記憶に残る一日になりました。



かわいらしい「ほしぞらのおんがく」でみんなを楽しい気分にした1年生



国語で習った「ニャーゴ」を一人一人が役割を分担して音読した2年生



3年生の手話を交えた「友だち」と「虹」は、天使の歌声でした。



役者ぞろいの4年生。国語で習った「走れ」の音読劇を披露しました。



一体感を感じた5年生の「ジュラシック・パークのテーマ」と「キリマンジャロ」



みんなを晴れやかな気分にした6年生の手話・合奏「カイト」

創作部の皆さんの作品が、図書室前や美術室前などに掲示されています。「自分が作りたいものを作れる、楽しい部活動です。」と部活紹介していた創作部の皆さん。自分の思いを豊かに絵画や立体、写真に表現する様子を、いつも感心して見えています。



4年生から8年生までの音楽部の皆さんは、「野ばら」、「サンプル・エ・ムズ」、「赤いやねの家」を堂々と演奏しました。芸術の秋を感じました。



「COSMOS」の雄大な世界を美しいハーモニーで歌い上げた7年生



「もののけ姫」の世界観を見事に表現した8年生。聴きどころ満載でした。



活動の中心になって、みなみフェスティバルをつくりあげた9年生。ステージに設置された横看板も、モニュメントも、今回のフェスティバルのスローガンにふさわしいもので、実に素晴らしいかったです。受験勉強と並行しながら、準備に取り組み、フェスティバルの成功を強く願っている姿に、エールをおくってきました。また、9年生が歌う「虹」。多くの学校で歌われている名曲ですが、9年生の歌声は聴く人の胸を打ち、心の琴線に触れる合唱で、感激しました。

10/14（金）6年生が世界遺産・日光方面へ



10月14日に、6年生が日光方面に遠足に出かけました。朝9時前に「華厳の滝」に着いた時は、霧雨が降っていたのですが、少しすると霧が晴れ、日光の山々が赤や黄色に色づく様子が見えてきて、子どもたちからは「きれい！」と歓声が上がりました。いろは坂を下っていくと、道路のわきには野生の猿の姿が……。これにもまた、子どもたちは大喜びでした。次に向かったのは、世界遺産「日光東照宮」です。専門の観光ガイドさんの説明をよく聞き、とても有名な「陽明門」や「眠猫」などをじっくり見学しました。そして、最後に訪れたのが「日光木彫りの里工芸センター」です。いつも使っている彫刻刀とは少し違う彫刻刀で日光彫を体験し、作品を一人一人持ち帰りました。6年生に、また一つ、思い出が増えたようです。



10月14日から28日まで、学校に「ペッパー君」がいます。ソフトバンク社からお借りしています。昇降口にいるペッパー君、朝は「おはよう！」と子どもたちを出迎え、休み時には子どもたちとおしゃべりを楽しんでいます。(なかなかペッパー君から離れられなくなってしまい...) ペッパー君は、こちらの質問にも的確に反応することもでき、感動します。子どもたちに大人気のペッパー君、愛らしいしぐさやかわいらしい声を聴くことができなくなるのは、何だかさみしいです。
(文責：野尻)